

小学校 第1学年 学級活動指導案

- 1 活動名 「給食ができるまで」
- 2 本時のねらい
給食を作っている人の気持ちや仕事の内容を知ることを通して、給食について関心を持ち、感謝の気持ちをもつ。(関心・意欲・態度)
- 3 食育の視点
 - ・食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。(感謝の心)
 - ・食事の準備や後片付けを、安全面や衛生面に気を付けて行う。(食品を選択する能力)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：今日は給食について勉強します。給食の〇〇先生はどんなお仕事をしているのだろう。 ・毎日どんな給食を作ろうか考えてくれていると思う。 ・みんなのために、おいしい給食を作ってくれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・T2：給食を作っている様子、白衣やマスクをして作業をしている写真を提示する。 ・スパテラ（大きなしゃもじ）等の道具を用いて、実際の動作をする。 ・給食センターでは他の学校の給食も作っていることを説明する。 ・給食を作るには、多くの人がかかわっていることを知らせる。 ・身だしなみや衛生面に気を付けていることを説明する。
	T1：給食ができるまでについてをお話してもらおう。 ・大きいお釜で作っていたよ。 ・毎日3200人分の給食を作っているなんてすごい。 ・給食センターには、20人くらいの方が働いていた。 ・朝、8時から作って間に合うのかな。 ・手を丁寧に洗っていた。	
つくる	T1：なぜ、白い服を着たり、帽子やマスクを付けてたりしているのだろう。 ・髪の毛が給食の中に入らないようにするためだと思う。 ・みんながやっている給食当番と同じだね。	<ul style="list-style-type: none"> ・T2：調理員の思いを話すことで、子どもたちが感謝の気持ちをもつことができるようにする。
	T1：給食を作っている時の気持ちや嬉しいことを聞こう。 ・おいしく食べてほしいと思って、作ってくれているんだね。 ・残さないで、全部食べてほしいと思っているんだ。 ・みんなが元気になるようにと考えて作ってくれているんだ。 ・たくさん食べて、残りが少ないと嬉しいことが分かった。	
まとめ	T1：これから、どのように給食を食べようと思ったか発表しよう。 ・給食の先生みたいにしっかり手を洗ってから食べよう。 ・「いただきます」「ごちそうさま」をしっかり言おう。 ・「からっぽになるとうれしい」と言っていたから残さず食べるよ。 ・苦手な食べ物が出て、頑張って食べよう。	☆給食について関心を持ち、感謝して食べようとする気持ちをもつことができたか。(感想)

感謝の心

小学校 第3学年 社会科学習指導案

- 1 教材名 「物を作る仕事」
- 2 本時の目標
給食に使われている食材から地域の生産物を知り、農家の人の工夫を考える。(思考・判断・表現)
- 3 食育の視点
食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることを理解する。(感謝の心)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：この給食の中には、どんな食べ物が入っているだろう。 ・ごはん ・ニジマス ・ぶた肉 ・人参 ・大根 ・葉ねぎ ・さといも ・牛乳	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと給食の日」の献立の写真を提示する。 ・食品カードを黒板に掲示していく。
	T1：これらの食べ物はどこで作られたのだろう。 ・「ふるさと給食の日」だから、野菜は市内で採れたものだよ。 ・この地域の農家の人が作った物だと思います。 ・ニジマスやぶた肉は他の地域で作られたのかもしれない。	
つく	農家の人はどんな願いをもって野菜を作っているのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産の食材なので生産者の顔が見えるよさに気付かせる。 ・T2：献立や給食を作る時に気を付けていることも話す。 ・願いを予想させる。 ・T2：事前に農家の人の願いや工夫、努力を聞き取り、子どもたちに分かちやすく話す。
	T1：農家の人の話を聞いて、分かったことを発表しよう。 ・おいしく食べてもらうために、一生懸命世話をしているよ。 ・安心して食べてもらえるように、清潔にして作業をしている。 ・たくさんの人に食べてもらいたいと願っていることが分かった。	
高める	T1：農家の人は願いを叶えるためにどんな工夫をしているのだろう。 ・野菜は日当たりのよいところで育てたり、水を欠かさずにまいたりして、丈夫に育つようにしている。 ・できるだけ農薬を使わないようにしている。 ・機械を使って、早く、たくさんできるようにしている。 ・多くの人に食べてもらえるように、おいしさを伝える努力をしている。 ・たくさんの人に買ってもらえるように、値段をできるだけ安くしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いて、分かったことを確認する。 ・板書して、農家の人の工夫のポイントを押さえる。
まとめる	T1：いろいろな工夫をしている話を聞いて、分かったことや思ったことを発表しよう。 ・給食ができるまでには多くの人がかかわっているのが分かった。 ・おいしく食べてもらいたいという願いがよく分かりました。 ・感謝の気持ちをもって、残さず食べるようにしたい。 ・知っている農家の人が作っているから、安心して食べられる。	<ul style="list-style-type: none"> ☆地域の生産物を知り、農家の人の工夫を考えることができたか。(感想)

小学校 第6学年 学級活動指導案

- 1 活動名 「食事のマナーの意味を考えよう」
- 2 本時のねらい
食事のマナーの意味を理解することを通して、心を込めてあいさつをしたり、自分の食事のマナーを改善したりする意欲をもつことができる。(関心・意欲・態度)
- 3 食育の視点
食事のあいさつは、食に関しての感謝の気持ちの表現であることを理解する。(感謝の心)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ	T1：食事のときにあいさつをしていますか。 ・いつも「いただきます。」をしてから食べている。 ・時々、あいさつをしないで食べてしまうことがある。	・食事の時にあいさつをしているかどうかを問いかけ、学習内容に対する興味をもたせる。
	「いただきます」と「ごちそうさま」の意味について考えよう。 ・食事をする時の大切なあいさつだよ。 ・生き物の命をいただいているという意味だと思う。 ・「ありがとう」という感謝の意味があると思う。	
つくる	T1：何に対して、誰に対しての「ありがとう」なのだろうか。 ・給食の調理をする人 ・野菜を作っている農家の人 ・配達する人 ・食べ物	・T2：給食ができるまでの過程を説明する。(写真提示) ・T2：子どもの話し合い後に、食事のあいさつや食事のマナーの意味について説明する。
	T1：なぜあいさつは大切なマナーなのだろう。 ・「ありがとう」の気持ちを伝えるため。 ・食べ物を大事にしようという気持ちを表すため。	
高め	T1：食事のマナーには、あいさつ以外にどんなものがあるだろう。 ・残さないように食べること。 ・食べる時の話題の選び方に注意すること。 ・食器の並べ方、おはしの持ち方に気を付けること。 ・よい姿勢で食べること。 ・協力して準備や後片付けをすること。	・食事のマナーを守ることが、感謝の気持ちを表すことにつながることに気付かせる。 ・児童の意見が出にくい時は、食べる姿勢、はしの持ち方や使い方にもマナーがあることを伝える。
まとめ	T1：これまでの自分の食事のマナーを振り返ってみよう。 ・あいさつはしていたけれど、感謝の気持ちはもっていなかった。 ・食べ物を口に入れたまま、おしゃべりをしていた。 ・嫌いなものは残していた。 ・おはしの正しい持ち方ができていなかったかもしれない。 ・正しい食事のマナーを覚えたい。	☆心を込めてあいさつをしたり、自分の食事のマナーを改善したりする意欲をもつことができたか。 (ワークシート、感想)

中学校 第1学年 道徳指導案

- 1 主題名 「世界の平和と人類の幸福」 4－(10) 人類愛 資料名 ハンガーマップ
- 2 本時のねらい
世界と日本の食糧問題について知り、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。
(道徳的実践意欲と態度)
- 3 食育の視点
食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていることを理解し、感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり無駄なく調理したりする気持ちをもつ。(感謝の心)
- 4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援 ・留意点 ☆評価
つかむ つくる 高め まとめる	<p>T1：世界の飢餓の状況の資料から、気付いたことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなにたくさんの方が亡くなっているなんて知らなかった。 ・多くの方が栄養不足で苦しんでいることが分かった。 ・アメリカや日本は、栄養不足の人が少ないのが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「ハンガーマップ」や亡くなった方の人数等を生徒に提示し、世界の飢餓をより身近なこととして捉えさせる。 ・T2：資料を活用して説明することで、世界の貧しい国の生活を捉えやすくする。 ・T2：食品ロス（食べられるのに捨てられている食品）の資料を提示し、自分たちの生活は恵まれ過ぎていること、周りには物があふれていることを確認する。 ・手紙を書く活動を通して自分の生活を振り返らせ、これから改善していくことを考えさせる。 <p>☆残さず食べたり無駄なく調理したりする気持ちをもつことができたか。(手紙・発表)</p>
	<p>T1：なぜこんなに栄養不足の人の割合に差があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が起きている国には十分な食糧がないからだと思う。 ・干ばつなどの災害が続いているからではないか。 	
	<p>T1：飢餓状態の人たちの資料を見て、思ったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が原因で小さい子どもまで充分食べられないのはかわいそう。 ・食べることに精一杯の生活をしている人が世界中にたくさんいる。 ・干ばつ等の自然災害が起こると、たくさんの方が飢餓状態になってしまうから怖い。 ・食糧が足りない国に、もっと援助しなくてはいけないと思った。 ・食品ロスがこんなに多いなんて知らなかった。もったいない。 	
	<p>T1：自分たちの毎日の生活の中で変えられることを考えながら、これらの国の人たちに手紙を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは食べ物に恵まれているのだから、これからは給食を残さないようにしよう。 ・家庭でもわがままを言わず、好き嫌いをなく食べるようにする。 ・無駄な買い物をしてないようにしたい。 ・買った物はきちんと食べ、外食をした時も残さずに食べるようにする。 ・「もったいない」という気持ちをもって、生活していきたい。 ・賞味期限を正しく理解して、無駄なく食べるようにしたい。 	
	<p>T1：先生のお話を聞こう。(教師の説話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を発表する。 	

特別支援学校 小学部 高学年 学級活動指導案

1 活動名 「いただきます」の意味を考えよう

2 本時のねらい

「いただきます」の意味を考えることを通して、食べものには命があることや、食事ができるまでには様々な人々の働きがあることを理解し、食べものを大切に、生産や調理等に関わる人に感謝する気持ちをもつ。(関心・意欲・態度)

3 食育の視点

食事のあいさつは、食に関しての感謝の気持ちの表現であることが分かる。(感謝の心)

4 指導過程

段階	学習活動と予想される子どもの表れ	・支援・留意点 ☆評価
つかむ	T1:「いただきます」という言葉には、どんな意味があるのだろう。 ・今から食べるよという意味かな。 ・「食べ物をもらいます。」という意味だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1:「いただく」は、「もらう」と同じ意味であることを確認する。 ・T1:「食事を作ってくれる人だけなのか。」等、補助発問をし、発言を引き出す。 ・T2:肉は元々何だったのか、野菜の苗は最初どうだったのかを尋ねながら、肉や魚や野菜にも命があり、それらをいただいていることに気付かせる。 ・T2:給食は調理員、生産者等の働きに支えられていることを伝える。 ・T1:食べ物、生産者、調理員等、声を掛ける相手を具体的に示し、感謝の言葉を考えさせる。またその言葉を掛ける理由も答えさせる。 ・T1:「いただきます」には「ありがとう」の意味が込められていることを確認する。
	T1:「いただきます」は誰に言っているのだろう。 ・お母さんや給食室の先生たち ・お店屋さん ・農家や漁師の方 ・食べ物	
	T1:「いただきます」と言って、何をもらっているのだろう。 ・ごはん ・生き物や野菜の命だと思う。	
	T1:給食の〇〇先生からのお話を聞こう。	
つくる	T2:食べ物が生きている時の姿や、給食作りにかかわっている人々の写真から、命や人々の働きを考える話をする。 ・動物や植物の命 ・給食づくりに関わる多くの人々の働き	<ul style="list-style-type: none"> ・T1:食べ物、生産者、調理員等、声を掛ける相手を具体的に示し、感謝の言葉を考えさせる。またその言葉を掛ける理由も答えさせる。 ・T1:「いただきます」には「ありがとう」の意味が込められていることを確認する。
	T1:命をくれた食べ物や、食べ物を育てたり、料理を作ったりしてくれる人たちに、「いただきます」の代わりにどんな言葉を掛けたいか考えよう。 ・命をもらってごめんね。 ・食べ物を大切にするために、残さないで食べるよ。 ・おいしく作ってくれてありがとう。	
高め	T1:感謝の気持ちを表すために、これから自分が取り組んでいくことをワークシートに書こう。 ・苦手な食べ物も残さないで食べるように頑張るよ。 ・大切な命をいただくのだから、「ありがとう」「ごちそうさま」と心を込めて言うようにしましょう。	☆食べものを大切に、生産や調理等にかかわる人に感謝する気持ちをもつことができたか。(ワークシート)
まとめ		

感謝の心